

## ひじりの声 上田 藤市郎

インターネットの普及によって世界の様々な情報が短時間のうちに、しかも比較的容易に、多数の人々のもとに届くようになった。その結果、私たちは、インターネット、テレビ、ラジオ、新聞など、どのメディアを選んでも、ほぼ同じ情報を得ることになっていて、これらの話題を共有することで周囲の人々と交流している。

ふと、我に返って考えてみると自分独自の気持ちや体験を日々の生活の材料にして、物事を考えたり、相手に伝えたりする活動が減っているように思える。メディアの話題が自分の思考に深く侵入してきているのである。

例えば、人の命はもつと大切にされなければいけないのに、銃で殺される人々があまりにも多過ぎる。お金や食べ物などがなかったら、助けてもらえる社会だといいつつ、死を選ばざるをえないところまで追い込まれる個人や家族がいるのは、本当に悲しいことだ。政府の方針に反対すると逮捕される国がいくつもあるのも納得がいかない。

メディアの情報で自分の頭をいっぱいにつまみ、じつくりと自分でいのちや生活、人々の苦しみや痛みを感じ取り、自分自身の気持ちをおおきく大切に、発言し行動することが大事だと思ふ。

## 藤樹人間学塾… 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に思想を学ぶとともに、時事問題と組み合わせることで議論しながら考えを深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。

本稿ではその模様をお伝えいたします。

一月はコロナの感染が広がっていたのでお休みにし、二月六日(土)午後、安曇川公民館で第百十二回の塾を開きました。参加者は九人でした。

## 高島藤樹会の活動

今回は『中庸解』第二十二章です。「ただ天下の至誠のみ、よくその性を尽くすことをなす。…即ちもつて天地と参すべし」です。

大意について次の様に説明しました。「ただ天下において至誠の人である聖人にして、よく自分に賦与された天命の性を察し細大漏らさず尽くすことができる。よくその天命の性を尽くせば、よく他人の性も尽くすことができる。よく他人の性も尽くすことができれば、よく自他万物一切の性を尽くすことができる。よ

く自他万物の性を尽くすことができれば、天地自然が万物を育てることを進めることができる。万物を育てることを進めることができれば、天地と肩を並べて合一となる」。この節は、聖人の高い境界を経文にしたがって藤樹先生が説明しておられます。

私たちが日常生活において直面する課題を解決するためには、出口治明『自分の頭で考える 日本の論点』を紹介し、タテ(歴史はどうか)、ヨコ(世界ではどうなっているか)、算数(論理)の考え方や事例が大変参考になると述べました。

また、「日経ビジネス」に掲載されたジャック・アタリ氏「次世代の幸せを考えよう」を紹介し、現在の民主主義は危機を迎えている。個人自由を強く掲げた民主主義、行き過ぎた市場中心主義から、他者のこと、次世代のことを考えた民主主義そしてマネーより生命を大切にす経済(①少肉多菜、②少糖多果、③地産地消、④食育と節食)に変えなければならぬという意見に賛同すると述べました。

参加者からは「人の性、物の性を尽くすためには修業が必要だと思つた」、「物事を判断するにタテ、ヨコの情報を努力して集め、主体的に考えることが重要だと思つた」、「今まさに直面している課題のヒントを得られた」、「少肉多菜について、不

製油の、大豆は地球を救う、は、近江商人の、三方よし、が基で良かった」等の意見、感想をいただきました。

三月は「藤樹・心のセミナー」を予定していたのでお休みにし、四月三日(土)午後、安曇川公民館で第百十三回の塾を開きました。参加者は十人でした。

今回は『中庸解』第二十三章です。「その次は曲に致る。曲なればよく誠あり。誠あれば即ちあらわれ…」

変ずれば即ち化す。唯天下の至誠のみ。よく化することなす」です。

大意について次の様に説明しました。「前は聖人の誠だったが今回は賢人以下の人の誠。凡夫であつても元来は心に誠が有る。その誠があれば努力すれば表れてく

